

外国産ナンキンムシが猛威をふるう？ 宿泊者の訴えで損害賠償請求されるケースも

実態レポート
とくに絶滅したと思われていたナンキンムシが発生し、ホテルに被害を及ぼしているという。米国では深刻な問題となっており、日本でも実際被害を受けた宿泊客から損害賠償を求められたケースもあり、経済的に大きなダメージを受ける恐れがある。実態をレポートする。



三共消毒 勝永秀人氏

対策案はイメージ
どの駆除をする案内チラシを置いていたのですが、こちらを遠巻きに見て、展示会に出展した酒博会場、周囲にしながらその社は、ある珍妙な光景を目にしたという。「コキブリやネズミなど」

昨年、宿泊施設向けの内容を、こちらを遠巻きに見て、展示会に出展した酒博会場、周囲にしながらその社は、ある珍妙な光景を目にしたという。「コキブリやネズミなど」



▲客室内を清潔にすることが経営者の責務 (写真はイメージ)

ナンキンムシ、いわゆるトコジラミは成長しても8ミリ程度で目視は非常に難しい。メスは1日5〜6個。一生産する500個もの産卵を行い、成虫期間は3〜5カ月。

生態 あらゆる隙間に入り込む

ナンキンムシ、いわゆるトコジラミは成長しても8ミリ程度で目視は非常に難しい。メスは1日5〜6個。一生産する500個もの産卵を行い、成虫期間は3〜5カ月。

同社が配布したチラシの中で一番きつかったのは「ナンキンムシ」に関するものだった。「やはりイメージがありますので、他社には知られたいのですが、思いのほか多くの方が訪れたことに驚きました。」

「サミット2010」が開催された。当日は様々な対策発表されたが、その中で虫の隠れ場所を突きあてての専用訓練を受けたスタッフが紹介された。かっこいい話になった。かっこいい話になった。かっこいい話になった。

「サミット2010」が開催された。当日は様々な対策発表されたが、その中で虫の隠れ場所を突きあてての専用訓練を受けたスタッフが紹介された。かっこいい話になった。かっこいい話になった。かっこいい話になった。

「この虫は戦後の日本では大流行したが、一時絶滅したと言われていた。しかし最近では被害がまた拡大している。」

アメリカではホテルでも深刻な被害を受けている

「ナンキンムシは、夜間、就寝中を狙って人間の血を吸い、かゆみを引き起こし、吸い痕が長期間残る。アレルギーにもなるといわれ、糖尿病患者は傷口が悪化するリスクもあるといわれる。」

「品川区は、低毒性殺虫剤と高熱スチームを使ってナンキンムシを一気に死滅させる独自の殺虫方法を提案。全国各地に拠点を持ち、対応可能だ。殺虫の二オイが発生している、他の客室への影響もなく、3時間〜1日の施工が終われば、すぐに客室を売り出すことができる。」

「ナンキンムシの発生をチェックする上で、最もわかりやすいのが『血糞』の有無。1〜2個程度が目付いたら、早期対応が必要です。」(環境衛生事業部東京ブロック次長 勝永秀人氏)。

トコジラミ(ナンキンムシ) ...でお悩みではありませんか?

株式会社三共消毒「トコジラミ専用サイト」
<http://www.tokojirami.net>

創業86年の三共消毒では、
 <<高熱スチーム処理>>での駆除を中心にトコジラミ被害を根本的に解消いたします!!

★読者プレゼント★(ホテル・旅館関係者限定)
 【ホテル・旅館向け「トコジラミ対策マニュアル」(全13P)】
 <<三共消毒オリジナル版>>を「無料」で差し上げます。

トコジラミ駆除に関するお問い合わせ・ご相談は...
 通話料無料のフリーコール
0088-22-2741